

2021年3月2日

リコー、再生可能エネルギー使用率の2030年度目標を50%に引き上げ ～ 国内再エネ率向上と質の確保に向けて、独自の再エネ電力総合評価制度を導入 ～

株式会社リコー(社長執行役員:山下 良則)は、事業に使う電力における再生可能エネルギー(以下、再エネ)比率の2030年度目標を、これまでの30%から50%に引き上げます。

また、2021年4月から2か年の「第20次中期経営計画」のスタートにあわせて再エネ比率をESG目標に追加します。2023年3月までの目標を30%に設定し、従来目標を8年前倒しして取り組みを加速させます。

海外においては、2030年度までに主要な拠点における使用電力を全て再エネ100%にすることを目指すほか、課題となる国内拠点の再エネ率向上と質の確保に向けた施策として、新たに独自の再エネ電力総合評価制度を導入します。この制度を活用して本社事業所(東京都大田区)*で使用する電力を2021年度から100%再エネ化(CO₂削減効果約2,000トン/年、再エネ電力量4.3GWh/年)します。

* 一部建屋を除く

今回新たに導入する再エネ電力総合評価制度は、リコーグループが目指すべき社会として定義する持続可能な経済(Prosperity)、持続可能な社会(People)、持続可能な地球環境(Planet)の3つのPのバランスが保たれた社会(Three Ps Balance)に基づき、価格のみならず、新規の開発を促進する追加性のある電源であることや、環境負荷がより低いこと、地域社会が出資する発電所であることなどを総合的に評価するものです。今後、国内で再エネ電力を調達することが決定した拠点では、この制度を用いて電力の調達先を選定します。

海外では、中国のサーマルメディア生産拠点である理光感熱技術(無錫)有限公司の使用電力を2021年度に100%再エネ化(CO₂削減効果約6,500トン/年、再エネ電力量10.5GWh/年)するなど、自社で調達する再エネ電力の質と量を高めてまいります。そして、これらの国内外の取り組みを通じて、コロナ後のグリーンリカバリーに貢献してまいります。

リコーは2017年4月に日本企業として初めてRE100に参加しました。2020年3月には、地球温暖化に対する世界の潮流の変化を踏まえて環境目標を見直し、2030年の自社排出のGHG(温室効果ガス)削減目標を2015年比で従来の30%削減から63%削減に改定し、SBTイニシアチブの新基準「1.5°C目標」の認定を取得しています。

「気候変動」は、グローバル社会が直面している最も重要な社会課題の1つです。今後もリコーは、自社での徹底的な省エネ活動と再エネの積極的な利活用を進めるとともに、ビジネスパートナーやお客様にも協力を働きかけることで、バリューチェーン全体での脱炭素社会づくりに努めていきます。

■2020年度の主な再エネ導入の取り組みとそれによるCO₂削減効果および再エネ電力量:

	CO ₂ 削減効果	再エネ電力量
中南米12カ国の全22販売拠点のRE100化を達成	約800トン/年	3.0GWh/年
リコーチャイナのRE100化を達成	約400トン/年	0.6GWh/年
山梨電子工業のタイ生産拠点で太陽光パネルを導入し、自家発電を開始	約450トン/年	0.8GWh/年
Ricoh UK Products Ltd.において、太陽光パネルを新設	約400トン/年のCO ₂ 削減に相当	1.6GWh/年

■(参考情報)これまでの再エネ導入関連の取り組み

- 2018年:欧州の販売会社9社やフランスの生産会社Ricoh Industrie France S.A.S.のリユース・リサイクル工程で使用する電力を100%再エネ由来に切り替え
- 2019年夏:中国・タイ・日本のA3複合機組み立て5工場を全て再エネ化
- 2019年10月:英国中部の製造・事業開発拠点Ricoh UK Products Ltd.を再エネ化
- 2019年11月:中国の生産会社Ricoh Thermal Media (Wuxi) Co., Ltd.にPPAを導入し、約2割を再エネ化
- 2019年~2020年:国内販売会社リコー・ジャパンの5拠点が省エネと太陽光発電や蓄電装置の導入により、「ZEB* Ready」認証以上を取得
(2025年度までに、全国の支社長および役員用のすべての車両をEVまたはPHVに切り替え)
* Net Zero Energy Buildingの略称で、年間で消費する建築物のエネルギー量が大幅に削減されている建築物。省エネ基準に対して『ZEB』(100%以上減)、Nearly ZEB(75%以上減)、ZEB Ready(50%以上減)がある。
- 2020年4月:リコー環境事業開発センター(静岡県御殿場市)のRE100化を達成
- 2020年7月:中国新生産拠点Ricoh Manufacturing (China) Ltd.がRE100達成工場として稼働開始(深セン旧2工場と比べて電気使用量を70%以上削減、全電力の10%を自家発電で賄う。)

| リコーグループについて |

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています。(2020年3月期リコーグループ連結売上は2兆85億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会にむけて積極的な取り組みを行っています。

[EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES](#) - 人々の“はたらく”をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <https://jp.ricoh.com/>